



議会だより

No. 23

2004 .10月



山口小学校さよなら運動会

9月定例議会

P2～P3.....15年度決算・議案審議

P10～P11.....委員会活動報告他

P4～P9.....一般質問(6議員)

P12.....まちの声

私たちの税金の使いみちを審議しました

平成15年度決算約92億円について認定

9月議会で平成15年度決算について審議した結果、一般会計、特別会計ともに原案どおり認定しました。認定に際して、議会で行われた質疑を一部ご紹介いたします。

さらに努力を

地方バス路線維持対策費に関連して、今後、少子・高齢化に対応するためコミュニティバス・タクシーなど、サービス向上のための検討はしているのか。



今後の検討課題

今のところ、検討はなされていないが、少子・高齢化は想定されるので、状況を見極め、その活用、効果も考えたい。

補助金使途について

森林整備地域活動支援事業について、事業費の一部が委嘱先の森林組合の人件費に充てられているが、どうしてか。



改善・指導と強化

組合経営が厳しいという事情がある。組合に対しては町から400万円の助成をしていることを考えると、今後はその分との整合性がとれるよう、改善・指導をしていきたい。

検討、実施する

セキュリティの問題等、乗りこえなければならない問題はあるが、技術的には可能であるので、今後、検討し実施できるようにしていきたい。



運用方法について

電算関係の予算について、各課それぞれ費用を計上して委託費を支払っているが、一括することによって、経費の節減は出来ないものか。

跡地利用について

切目川中学校の跡地について、有効活用していく方策はあるのか



検討されていない

登記事務が遅れていることもあるが、現在のところ行われていない。

未収金について

簡易水道料金の未収金が増えているが、こういったことが原因か。



話し合いを継続

本間ゴルフの水道料金が、事務の食い違いで未収となっているためです。今後も協議し、解決を図っていきたい。

使いみちは？

教育長の交際費についての詳細は？



慶弔費に

主に町内おられる130人の先生方の慶弔費に充てています。

平成15年度決算 状況一覧(歳出金額)				単位:円
一般会計	5,302,533,306	滝ノ岡水道特別会計	5,786,419	
国民健康保険特別会計	1,223,469,513	農業集落排水特別会計	409,262,070	
老人保健特別会計	1,107,397,743	介護保険特別会計	524,603,830	
同和新築資金特別会計	27,570,284	宅地造成特別会計	249,694,128	
印南町水道特別会計	379,153,900	歳出合計	9,229,471,193	

補正予算 650万円を追加

総額

49億3,686万6,000円

平成十六年度九月定例会 議案審議

平成十六年第三回印南町議会定例会は、九月十四日招集されました。

会期は二十四日までの十一日間。付議案件は、平成十六年度一般会計補正予算や特別会計補正予算等十四件。諮問一件、加えて平成十五年決算の認定九件が上程され、慎重審議の上、全て議決、承認されました。

授産施設印南町の入所数は

日高町に建設中の知的障害者通所授産施設建設負担金（広域負担）として印南町は254万9千円負担しています。当町から何人入所される予定か。

当町からは、今のところ入所予定はありません。

印南小学校大規模改造補助金減少か？

印南小学校の給食施設と校舎改修について、国の補助金が大幅に減っているが、当初計画に支障が出ないか。

教育費の国庫補助の減額とその事業費

の減については、入札差額が主たるものであり、当初計画から事業費が減じたわけではありません。

地方交付税減額 財政への影響は？

地方交付税、段階補正について3ヶ年ぐらいで見直しがされたが、町財政に与える影響はどの程度か？

段階補正で3ヶ年の減額がされ、毎年5千万円程度の不足が生じております。



ゴルフ場利用税マイナス7百万円の要因は？

当初予算より、マイナス7百万円となっているがどうしてか。

ゴルフ場利用者の減によるものです。人数換算して、約1万人の利用者が減ったことにより、約7百万円の減額になっています。

請願について

郵政事業の民営化に反対を求める決議の意見書提出についての請願
この請願については、総務文教常任委員会に付託され、審査した結果、願意妥当であり、委員会としては採択することとなりました。
今議会で、総務文教常任委員長の採択とする報告があり、全議員賛成で採択されました。

意見書

①「山村の活性化と地球温暖化防止森林吸収源対策の推進を求める意見書」

概要
森林吸収源対策としての森林整備を強力に進めるため、温暖化対策税の創設を図り、その税収の活用目的に森林整備・保全を位置づける。
(本意見書は可決されました)

②「郵政事業の民営化に反対する意見書」

概要
地域にあった住民サービスのため、郵便局の担う役割は、さらに大きくなると思われる。
郵政事業を民営化することにより、その収益性を追求するあまり、不採算地域の郵便局の廃止・統合が進み、住民サービスの低下を招くことを強く危惧する。
(本意見書は可決されました)

公共下水道を早く

基本構想策定について基本事項7点について



西田太夫 議員



完成の山口処理施設

質問

平成十六年度において当町は特定環境保全公共下水道整備に向け、基本構想を策定することと、このことについて基本的事項七点について、お伺いします。

予定処理区域及び将来の拡大区域はどこまでエリアに入れるか。
計画下水量の予想はどれくらいか？
処理施設の面積、場所、処理方式についての計画を伺いたい。
管路方式についての計画はどのような方式か。

答弁 生活環境課長

概算総事業費はどれくらいか。
管理組合は必要であるのかどうか。
住民への説明会はするのかどうか。
また同意書のとりまとめの必要性はあるのかどうか伺いたい。

印南地区約70ha、切目地区（滝ノ岡除く）約50haの現状計画です。
一日平均1人200ℓ、300ℓが適当だが確定されていない。

場所等未確定
自然流下、真空方式併用
基本構想が策定されれば事業費は出ます。
今後、検討していきたい。
財政計画を立てて説明を行いたい。また、分担金、宅内工事の同意書は必要であります。

小学校統合の進展は？

印南中学校に自転車置き場屋根設置については？

質問

少子高齢化の中で、当印南町において小学校生徒児童数の減少が続いています。

よりよい教育をおし進める上において、統合を進めるべきと考えますが、真妻地区との話し合い、稲原西地区との話し合いの進展はありますでしょうか。
現状と課題については何か？

印南中学校の自転車置き場屋根設置問題について、先々月PTAからの要望が教育委員会にあったかと思いますが、長年、自転車置き場屋根設置は、学校の念願であったと思われる。

他中学校においては自転車通学されているところは屋根設置をしている現状であるうと思われませんが、父兄の負担も考慮に入れながらも、検討しなければならぬと考えますが、教育委員会の考えをお伺いいたします。



印南中学校自転車置き場

答弁 教育長

現在、真妻地区は統合への理解にいたっていない。
また、稲原西地区については教育委員会へ、統合の提案にいたっていないが、これからの教育のことを考え、訴えていきたい。
印南中学校自転車置き場屋根設置は前向きに検討していきたい。



玄素彰人 議員

住民参加のための仕掛けを!

答弁 総務課長
全ての情報開示は無理にしても、必要に応じて、対

再質問 役場で行われている情報を町民の皆さんに積極的に開示していくという努力が足りないと思う。
今後、専門用語を羅列するのではなく、もっとわかりやすく、かつ広範囲の情報を、住民からの求めがある前に、行政側から積極的に行う必要があると思うがどうか?

答弁 総務課長
現行においては主に広報誌を中心に行政情報の開示に努めている。
その他、各種会議、町内放送を通じて情報提供を行っている。

質問 地方自治は住民参加が基本です。制度上保障されてもいます。しかしながら現状は行政と住民との距離は、縮まっています。
行政から積極的な情報の開示を行い、住民の方々に、もっと役場のことを知っていただき、その上で行政運営にも参加していただくことがこれからのまちづくりに必要なことと考えていますが、どのようにお考えか?

今回の質問に対する考え方

(解説)

今回の一般質問では「住民参加」「情報開示」の観点から下記提案をさせていただきました。



- 住民の方々の行政情報公示に関するアンケート調査をしてはどうか
- 行政に関する疑問に対して職員を派遣し、説明する出張講座(仮称)を作ってはどうか?
- 重要な町の決定事項に関しては、住民の意見を反映させるため、「住民投票条例」等を今のうちから整備してはどうか?
- 現在各戸に配られている広報紙をコンビニやスーパーに置くことによって広報活動をもっと活性化させてはどうか?
- 「町のことを知る」そのためには、わかりやすい予算書を作成して、全戸に配布してはどうか。
- 電子メールやFAX等を通して、住民の意見を直接政策に反映させる「住民政策提言制度」(仮称)を創設してはどうか?
- 町の運営状況、特に行政改革の進捗状況は住民に公表して、住民のチェックを受けるべきではないか。
- 情報公示のための専門職員をその道に精通していたOBを臨時に雇用するなどして、情報公示を積極的に行ってはどうか?



これらの提案については特に財政の出動を必要としません。

行政側から、もっと情報開示を行い、住民の方々に行政に対する知識をもっていただき、行政参加をしていただくことが必要であると考えます。

詳細な質問に関してはホームページに掲載しています。
<http://www7.ocn.ne.jp/~gensosan>

応じることができるように努力していきたい。

車を止めて訪ねて くれるまちづくりへ



榊本敏夫 議員



切目神楽の一場面

質問 自動車道開通と古道の世界遺産登録で町活性化への動きや話題にもなっていますか。

町内動向を把握しています。

答弁 産業課長

文化協会の世界遺産登録を祝う夕べの切目神楽への取り組みや、産業育成に、農業体験交流、産品所の建設、ライオンズクラブの協力活動等よく認識しているところです。

来客サイドの 案内板を

質問 町内を訪ねてもらってよくわかる看板とその建植地は？

また、高速道路利用客に印南町の案内と呼びかけ看板も更に作成し、見える所へも作ってください。

答弁 産業課長

古道と王子跡案内をJR印南、切目両駅と紀南バレス駐車場付近にローマ字も入れている図柄とします。

お金の流れのストップ

質問 高速道路で、紀州路への往来客を町内で足止めるサービスエリア計画のその後は？

答弁 町長

去る六月議会では、私は白紙ですと答弁しました。しかし、その後、いろんな立場の方々からSAといかなくてもPA程度のものを第三セクターで立ち上げてはとの誘いもあり又、県の関係部局からも現地を見に来られました。国道四二号から自動車道に

紀州路客が移ったことから町をPRするためにも、SAでなくてもPAでも必要じゃないかと思うようになり、白紙じゃなく何とか立ち上げたいと思う気持ちです。今日からそのように取り組んでいきたいと思っています。

質問 非常に進んだご回答をいただき、SAでなくてもPA程度でもお金の流れをしばし足止めしてくれるPA実現へご努力いただきたい。

また、木村県政二期目スタートで県政7つの推進目標を出していますが、町事業にこの目標に当てはめ、協力いただいては？

答弁 企画課長

具体的に判りませんが、具体化され明らかになれば取り組んでいきたい。



町の観光資源は町民の心

質問 印南町の観光資源は町民のあたたかい心です。来町の皆様への応対マナー向上へ努力してはいかがでしょうか。

答弁 企画課長

県も10月から3ヶ月間大型観光キャンペーンの実施です。町も推進したい。



大改善希望の現在の上り線トイレエリア



谷井長平 議員

切目川下流域 河川整備について

安心な暮らし、豊かな暮らしは河川整備から

質問 第二期工事の塩止堰から楠本橋までの1,300mについて、測量がなされています。進捗状況についてはどうですか。

用地買収は今年度から

答弁 建設課長

天王元の川替え部分については、各種の測量を終え、今後、地権者立会いのもと、一筆測量を行い、詳細設計図の作成をし、河川敷地幅を確定、用地測量と補償対象となるビルハウス等の調査をしていく。

その上で、地権者の方々と交渉に入り、契約の調印を行いたい。

なお、用地交渉は平成16年度、17年度の2ヶ年で行うと県から聞いている。

川替えによる伏流水への影響はどうか

質問 高垣田んぼは伏流水が豊富なことから、蔬菜や花の栽培が盛んです。

川替えによる伏流水への悪影響がないか心配されます。影響調査についてはどうですか。

答弁 建設課長

事前に水量、水位等調査を行い、工事により水量水位等、従前の機能が損なえば、関係者と協議の上、必要な措置を講ずる。影響調査は工事着手前に行う。

質問 西ノ地橋（通称中学校橋）の架け替えはいつごろになるのか。

答弁 建設課長

西ノ地橋は河川改修で位置が変わる関係上、延長61.3m、幅員4mの計画である。まずは名杭集落の川幅の狭いところの工事を先行させ、その後着工すると聞いている。

黒潮フルーツライン事業の先行きは？

質問 大きな期待の中で進められている黒潮フルーツライン事業の現状と見通しについてはどうなのか。

16年度町内事業量11億円

答弁 産業課長

平成16年度全体予算24億円で、印南町内での16年度事業



フルーツライン事業のほ場整備が進む

量は、工事費、用地費、測量業務を合わせて概算で11億円余り。

今後の見通しですが、道路の事業変更の認可の作業を進めている。

宮ノ前土地改良事業

完成は来年3月

質問 宮ノ前圃場整備の完成はいつごろになるのか。

答弁 産業課長

平成16年度事業として進め

ている。予定より少し遅れて17年3月ごろになるのでは。なお、切目川下流域河川整備にかかる用地については、みんなで負担しあうことにしている。現在、実質的には宮ノ前土地改良区の所有地と判断している。

質問 低コスト耐候性ハウスの取組みについて伺いたい。

答弁 産業課長

現在、稲原で取組んでいる農業経営構造対策事業への追加計画変更により、国への申請作業を進めている。認められれば平成17年度事業として行う。事業費は3億円程度。関係面積は2.4ha、関係戸数は25戸となっています。

給食調理室の 空調設備(クーラー)を早く!



榎本一平 議員

質問

夏場、給食調理室は

衛生面からも

早急な設置を

答弁 教育次長
給食は自校方式で行い、安全性は確保されている。職員室は施設整備の中で対応していく。

質問 学校の給食調理室、職員室にクーラーの設置がなく、学校現場から要求が出ている。
日高郡内で、このような状況は当町だけである。早急に対応すべきである。



現在の印南小学校調理室

適切な温度25度、湿度70%以下になつていないもとで、子ども達の給食が調理されている。
衛生面から考え、早急にクーラーの設置が必要ではないか。

答弁 町長
教育委員会からの相談があれば、こちらでもそういった方向で考えていく。

カゴメ(株)のトマト

栽培施設への対応は

質問 私は6月議会で県が和歌山市に誘致するカゴメ(株)のトマト栽培施設について、地元トマト生産農家の心配する声も紹介し、行政側の対応を求めた。その後の具体的な取り組みは。

答弁 産業課長
県には農家に説明会の要請をし、農協にはミニトマト部会の考え方の意見集約を依頼している。

地元農家に与える

マイナス面の調査を

質問 カゴメ(株)の参入でトマトの入荷量と値段に影響を与える。
農家の収入や町への税収など、マイナス面などの試算を行わないか。

答弁 産業課長
当町は4億5千万円ほどの売上げがある。県ではマイナス試算を行っておらず、町では困難である。

町民の命と安全を守るために防災対策の総点検を

質問 9月5日の地震で、津波警報が発令されたが、役場の初動体制はどのような対応を行ったか。

答弁 総務課長
19時15分に15名、6日0時8分に20名が参集し、平和橋下で、職員が潮位の確認をした。
総務課職員3人が6日朝6時まで待機した。

再質問 各地域で自主防災組織の立ち上げが急務と考える

が町の取り組みは。

答弁 総務課長

本年度の津波避難計画策定は住民参加のワークショップを考えている。
津波浸水区域を示し、避難対象地区の指定、避難経路の設定を通じ、自主防災組織の必要性を訴えていく。



三重県紀勢町避難場所(総務文教常務人委員会視察研修より)



道修一議員

わがまちは 改革されているか

5年間のすすみ具合の検証

質問 平成12年12月22日、
印南町行政改革推進部会で、
《印南町行政改革大綱》が改
正され、第二次町行政の改革
がスタートし、17年までの目
標が詳しく示されておりま
す。

あと、1年を残すのみとな
っていますが、各項目別に現
在の進捗状況を伺いたい。

答弁 総務課長

事務事業の見直しについて
は戸籍の電算化を平成13年
度に行い、住民情報のネット
ワーク化は15年完成。パソ
コン普及（1人1台）と事務
の効率化については庁内ラン
構築を15年度実施。
各種団体助成金の見直しは
各年実施中。

納税報償金の見直し及び前
納報奨金の全廃実施。
住民検診を民間委託事業に
見直し実施。

決裁規定の見直しによる事
務の簡素化実施。
水道会計の統合と料金の一
本化（現状は料金二本化）実
施。

起債の繰上償還、2億数千
万円の実施。
職員の定員管理、12年か
ら16年まで14名減員、給料
削減も含め、一億数千万円の
人件費削減実施。

**検討中の項目は
早く結論を**

なお、保育所、幼稚園の適
正規模の見直し、幼保統合に
ついては現在調査検討中。
小学校過少規模校の統合に
ついては印南小、山口小学校
の統合、切目川小、横川小の
統合は決定。真妻小、上洞小
は四校統合も含め検討中。
社会教育センター、児童館、
みずほ会館の利活用は検討
中。

真妻出張所廃止は17年度廃
止に向けて検討中。
行政情報化の推進と、行政
サービスの向上については、
ホームページの充実と広報い
なみの充実で対応中。



役場第一電算室での業務



18年統合の横川小学校

再質問 検討調査中の項目の
中で、行政、議会、住民、委
員会等の連携。社会教育セン
ター等の利活用、職員の人材
育成計画、行政懇談会の実施
について今後どうされるのか
伺いたい。

答弁 総務課長

行政では各課、また、委員
会、住民と十二分に連携をと
り、意見を交換しながら取り
組んでいきたい。

社会教育センター等の出先
機関の対応については貸し館
を主とした館の利用を検討し
ている。

人材育成方法については、

町としての別段の計画はな
い。
地域行政懇談会について
は、以前はやっていたが、気
運の高まりがないので、現在
はやっていない。今後、区長
会からの要請があればやって
いく。



貸し館利用が検討されている社会教育センター

「委員会活動報告」

総務文教常任委員会

子どもを取り巻く環境は年々厳しいものがあり、学校での問題についても「いじめ」から「校内暴力」、現在は「不登校」が増加しているという。

当委員会では、そうした学校問題をテーマとして7月29日、教育長、教育次長から印南町内小・中学校の現状と対応についての説明を受けた。

すぐに切れる子どもたち

少子化という現象から少子時代を迎えた現在、生徒



学校教育問題についての勉強会

数が少なくなり、昔のような良い意味での競争感が薄くなるとともに、団体活動の希薄により、お互いが協力して物事を達成するということの欠乏が見える。

また、普段は真面目な子どもが、注意されたことで、すぐに切れるという現象が現れている。

町内の某中学校で教師への暴力が一件発生したとのことである。この生徒は日頃はそれほど粗暴ではないが、教師に注意されたことに切れ、暴力行為にいたったという。

厳しい対応での指導

教師への暴力に対する対応としては、たとえばどういう理由であれ、他人に暴力をふるうということとは許されないことであり、厳しい対応をしたと教育長の弁であった。

いじめについては中学校で一件起きていたが、学校や生徒、保護者を対象に様々な方面で対応した結果、徐々に改善されつつある。

増加しつつある「不登校」

今や教育問題ではなく、社会問題ともなっている「不登校」は年々増加し、平成12年度には13万人を超えている。中でも、中学校での「不登校」が多くなっている。

町内小・中学校での「不登校」は6名となっている。

対応としては担任が家庭訪問をし、教材などでの指導や、保護者と話し合って、登校を促している。

不登校となったきっかけは、本人・学校生活・家庭生活に分けられるが、いずれにしても、義務教育は基礎知識を引き出す場でもあり、「いじめ」「校内暴力」「不登校」などの早期解決が望まれる。

委員会としても楽しく学習できる学校づくりを強く願うところである。

厚生常任委員会

幼児ふれあい交流センター キッズランドやちよ

7月13日、幼児教育の充実、交流体験施設で町の活性化に取り組んでいる兵庫県八千代町を視察しました。八千代町は自然に恵まれた

人口6,200人の町で、基幹産業は染色織物「播磨織」で有名なことと、敬老の日発祥の町であります。

●キッズランド八千代

幼稚園、保育園、子育てふれあいセンターを一体化した施設で、2歳児以上は専用バスで登降園することが出る。

幼稚園127名、保育園70名の園児で10クラスで行われています。

子育て支援等は子育てふれあいセンターで支援しています。

職員構成は管理部、幼稚園、保育園、子育てふれあいセンター合わせて30名となっています。



八千代町において幼保一元化の研修

園舎の老朽化と少子化対策 3園を1つに

●施設の沿革

園舎の老朽化と少子化により、昭和61年に行政改革で3つの保育園を1つにとの指摘がなされ、保育園統廃合協議会が設置された。しかし、統廃合は難しく、結論を得るに到らなかった。

「幼児教育を考える会」発足

平成7年、生涯学習の一環として、関係機関の代表で組織する「幼児教育を考える会」を発足させ、2ヶ月に一回の定例会をもって、幼児教育のあるべき姿、両親教育のあり方、連携の方策等話し合う。

平成9年3月、八千代町教育委員会より「幼児教育センター（仮称）構想」提案。

平成9年8月、統合に係る関係部局検討委員会を設置し、検討を重ねる。

教育委員会が業務を受け継ぐ

平成10年3月、コンサルタントによる八千代町立幼児ふれあい交流センター（仮称）建設基本構想策定、調査まとまる。

同年7月、建設予定地決定、地権者に協力求める。

平成11年7月、工事着手。

12年3月竣工式、12年4月、業務を教育委員会が受け継ぎ、同年4月開園。

幼児の健全育成 子育てから地域づくり

建築内容は、敷地面積17,986㎡、述べ床面積2,306㎡(うち、子育てふれあい棟471㎡、屋外施設68㎡)総事業費7億3,200万円(地域総合整備事業)起債75%、一般町債25%、起債の55%は交付税措置される。

事業費のうち、2億円は土地の費用。

キッズランドの平成16年度予算額は1億5,162万6千円となっています。

キッズランドやちよの教育、保育方針は、幼稚園教育要領、保育指針に基づく教育、保育を行い、幼児の健全育成に努める。

一方園児は、育児の理念をもとに子育てに楽しく取り組み親や地域づくりに努めるとしています。

委員会としては、保育サービス幼児教育の充実、厚生のまちづくりのため、さらなる研鑽を深めることを確認して視察を終えました。

産業建設常任委員会

引き続き、地籍調査と有害鳥獣対策に取り組みました。

地籍調査について、6月28日、日高町へ先進地視察に行き、調査の進め方と注意点を学んできました。

有害鳥獣対策について、7月9日、日高郡議長会三役で、猟期延長等「有害鳥獣に関する規制緩和を求める意見書」を県知事宛に提出し、県関係部局と話し合いをもちました。当議会議長も監事として出席し、実情を訴えました。

7月16日、委員会を開催。切目崎鳥獣保護区指定について、猪の習性についての講習会の報告。今後の町の取り組み。地籍調査視察研修のまとめ。以上について協議しました。

について、7月5日の公聴会の状況説明を産業課長から受け、地元から反対があり、町として知事宛に意見書を提出したにもかかわらず、保護区に指定されることについて矛盾を感じるので、町として強く反対の意思表明をするよう要望しました。

、について、7月15日、県の鳥獣被害対策検討会が主催し、印南町で行われた講習

会に出席した委員から、猪の習性についての話を聞き、対策について産業課と協議しました。

県に対して猟期延長等規制緩和の陳情をしているので、町に対しては防護柵の普及、なおによる防護対策の試験的取り組み、アンケート調査の定期的実施を要望しました。

地籍調査については、今後円滑に進むよう、必要に応じ町に働きかけていく所存です。



産業課長より説明を聞く

広報特別委員会

委員会初めての視察研修

当委員会では、議会だより発行以来、講師による研修、勉強会を重ねてきたが、実際に議会だより編集にか

かわっている他町村の委員会を訪ね、初めて視察研修することとなり、8月25日、議会だよりの全国コンクールで優秀な評価を得ている兵庫県播磨町と稲美町への視察研修を実施しました。

1日で2ヶ所はハードスケジュールであったが、播磨町(174号)、稲美町(94号)の両町ともに数多くの議会だよりを発行し、両町の委員会の話を聞き、全国のコンクールへの入選も当然であると思われた。

印南町の議会だよりは今号で23号、両町にとつては子どものような存在である。

議論の経過を中心に編集

印南町の議会だよりの内容について両町からは「議会だよりは町の広報ではない。知らせるということより、議会での議論の経過を中心に情報発信していくべきである」などの意見をいただきました。

広く住民に議会活動を知っていただき、理解していただくためにも議会だよりは大切なパイプ役として、その役割は重要なものである。

親しまれ、読みよい紙面を

今まで、県議長会主催の広報研修会に参加をし、議会だよりの編集に必要な事項を学習してきたが、紙面づくりに十分反映されていなかった部分もあり、その部分も指摘された。

今回の視察研修は、講話研修と違って、編集にたずさわっている「生の声」を聞くことが出来、今後の議会だより編集に大変参考となりました。

広く住民の皆さんに親しまれ、読みやすく、わかりやすい議会だよりを作り上げていくため、今後も委員一同努力をいたします。



稲美町において広報編集研修

まちづくりのこと、ちょっと聞かせて

今号からまちづくりに取り組んでいる方に、印南町のまちづくり等について、いろいろ聞いてみることにしました。

今回はまちづくり推進実行委員会会長 東岩雄さんにインタビューをいたしました。



東 岩雄さん

委員会発足の経緯は？

この組織は、平成8年5月、産業まつりが10年目を迎えるに当たって、国の補助金を活用して、「食のまちづくり推進実行委員会」として発足。

その後、「まちづくり推進実行委員会」に名称を変更して現在に至っております。

委員会メンバーはどういった方々ですか

町内各種団体や職業を超えた方々が委員として参加してくれています。



東氏にインタビュー

今後、どのような活動を考えていますか？

現在のところ、「しよくの祭典」の企画、運営を主にやっていますが、一昨年からまちづくりを考える委員にしようという意見もあり、「まちづくり」を考えていく委員会にしたいと思っています。

しよくの祭典はそうしたまちづくりの一部であるべきだと考えています。

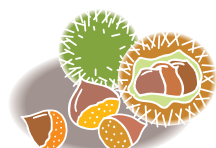
どのような「まち」になればいいと思いますか？

印南町への交流人口の増加が町の活性化と考える。そのためには、ハードとソフトをうまくからみ合わせて、官民一体となった「まち」にすべきと考えます。

町政に対する要望はありますか？

「みんなですすめるまちづくり」というキャッチフレーズに合った、住民参加型のまちづくりをするために、議会を含め、行政が一つになり、住民の声になるべく行政に生かせるようにしてほしいです。

国は民間への委譲の方向であるようですが、民間で出来ないことがあるのも事実。そういったところは行政も積極的に関与すべきと考えます。



**みんなで参加しよう！
十二月二十一日(日)
しよくの祭典開催！**



2003しよくの祭典（参加者）



2003しよくの祭典（体験村）

あてがき

各地域の秋祭りも終わり、本格的な秋のシーズンを迎えます。

さて、皆さんに「九月議会だより」をお届けします。私達広報特別委員会では、親しんでもらう「議会だより」づくりに努力していますが、八月下旬に兵庫県下の先進的な二つの町を視察し、そこで勉強した内容を今回の「議会だより」に取り入れました。

最終ページのインタビューの記事も初めての試みです。いかがでしょうか。町民の皆さんのご意見など、どしどしお寄せ下さい。

また、議会傍聴にもおこし下さい。
次回の議会は12月の予定です。

議会広報特別委員会
委員長 玄素 彰人
副委員長 榎本 一平
委員 谷井 長平

前田 太夫
榎本 敏夫